

重点プロジェクトG：事業者の保全活動の推進

【目標】保全活動団体と事業者のマッチング 成立件数：40件
開発事業における環境配慮工法等の反映率 80%/年

1 今年度の進捗状況

(1) あいち生物多様性企業認証制度

企業の生物多様性保全に関する取組を促進し、優良な取組が県内に広がることを目的として、優れた取組を実践している企業を認証する「あいち生物多様性企業認証制度」を本年度から運用している。

今年度は40社から申請があり、外部有識者による審査会を実施した結果、優良認証企業として15社、認証企業として25社（計40社）を認証した。2022年11月14日（月）に認証式を開催し、愛知県知事から認証書の授与を行った。



※認証式の様子

制度の概要

対象：愛知県内に本社又は事業所を置く企業（企業全体又は事業所（工場・支店・支社営業所等）単位）

認証期間：5年間（5年毎に更新）

評価項目等：組織の方針・体制等に加え、戦略で企業に求めている四つの基本方針^(注)を踏まえた評価項目を設定。認証を受けるには、この評価項目において所定の基準を満たすことが必要

(注) ①（豊かな生態系を）まもる、②（生息生育空間を）つなげる、③（生きものの恵みを）つかう、④（人と自然との共生を）ひろめる、の四つの基本方針。

認証区分：①優良認証 広がり・継続性等がある特に優れた取組を実施

②認証 生物多様性保全に貢献する取組を実施

認証企業のメリット：愛知県産材を利用した認証書を授与

認証企業マーク*を名刺や会社案内などで使用可能

各認証企業の取組を県自然環境課のWebページで紹介



※認証マーク

<認証マークの趣旨>

いのち輝く青い地球を、両手で優しく包み込む様を描いたマーク。両手に見立てた2つの図形は動植物など生命をイメージ。手と地球の間に「aichi」の頭文字「a」を表し、愛知の取組がグローバルにつながっていることを表現しています。グリーンからブルーへのグラデーションは、多様な生態系を育む水、緑、空を表すとともに、生物多様性を守り育む意識が未来へ伸びやかに育っていく願いを込めています。

2022年度の認証企業：

<優良認証>15社

(株)アイシン、角文(株)、(株)加藤建設、小島プレス工業(株)、(株)三五、(株)鈴鍵、(株)テクノ中部、(株)デンソー、トヨタ自動車(株)堤工場、(株)豊田自動織機、トヨタ車体(株)、豊田鉄工(株)、ブラザー工業(株)、横浜ゴム(株)新城工場、リンナイ(株)

<認証>25社

愛三工業(株)、(株)石垣商店、エスベックミック(株)、大島造園土木(株)、(株)オテックス、小原木材(株)、加山興業(株)、(株)クライム、グリーンフロント研究所(株)(株)サーラコーポレーション、JFEスチール(株)知多製造所、シヤチハタ(株)、大同特殊鋼(株)、大和リース(株)名古屋支社、(株)地域環境計画名古屋支社、(株)東海理化東邦ガス(株)、東レ(株)東海工場、戸田建設(株)名古屋支店、豊田合成(株)、尾西信用金庫、(同)フォレストエネルギー新城、(株)マルワ、三井住友信託銀行(株)一宮支店、(株)LIXIL 知多工場

【今年度の認証企業の特徴】

業種：製造業、建設業、造園業、エネルギー業界、金融機関など

規模：大企業から中小企業まで、工場単位の認証もあり

(2) 生物多様性マッチング

生物多様性の取組を模索している事業者と担い手を必要としている自然環境保全団体等との連携を促す「生物多様性マッチング」を2019年度から試行してきた（連携事例は下表参照）。当初に想定していた市民団体と事業者間のみならず、保全活動を行っている団体・事業者等の2者について、双方の支援希望等が合致して合意に至ればマッチングを促すこととしている。

<マッチング件数>

年度	2019	2020	2021	2022
件数	4	4	3	3

<マッチングを活用した連携事例>

- ・里山の整備作業に従業員を派遣
- ・外来種駆除の指導
- ・地域在来種の苗木を提供
- ・希少植物の移植に協力
- ・保全ノウハウの提供 等

2 今後の取組

- 企業認証制度：積極的に周知を図り、優良な取組が広がることを促す。
- 開発事業における環境配慮工法等：反映率は半数程度であるため、今後、生態系に配慮した形で在来種を植栽するなど、事業者の環境配慮工法等の実施を促す。
- 生物多様性マッチング：保全団体や企業等のニーズ把握に努め、連携の促進を図る。

認証企業一覧

(1) 優良認証企業 (15 社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
株式会社 アイシン	刈谷市	ビオトープが含まれる「アイシンエコトピア」を工場内に開設し、希少種のカワバタモロコの保全活動を実施している。定期的なビオトープ整備のほか、生物モニタリング調査、外来種駆除活動等を実施することで、健全な生態系ネットワークの形成に努めている。 2008年からは、環境保全意識の向上につながる取組として、小学生を対象とした生き物調査イベントを行っている。
株式会社 角文	刈谷市	刈谷市内においてヘイケボタルを飼育研究し、生息環境が整った場所に、他企業や学校等と連携して放流する取組を実施している。 2008年から、地元の小学生を対象とした体験型「川の環境学習」を実施している。取組は小学校の総合学習の一環としても行われている。現場では水質測定、検査、水生生物調査、河川ゴミの採取・記録等を行っている。
株式会社 加藤建設	海部郡 蟹江町	2009年より、「エコミーティング」(工事現場においてどのような環境配慮ができるかを、営業、事務、技術社員も含めた多様な視点で検討実施する取組)を行っており、様々な現場にて、生態調査、希少種保護、外来種駆除活動を実施している。 河川に隣接し、開放的な空間となっている資材置場にビオトープを造成した。地域の生物多様性を守れる拠点づくりを目標として、希少種の保護、植樹などを実施している。
小島プレス 工業株式会社	豊田市	約50年間にわたり、自社所有地を里山として整備する取組を継続している。 約15年前から希少動植物の保護活動を実施している。2017年からは、希少種の保全活動を更に進めるため、専門家を招いた植生・昆虫調査を開始した。専門家等からの助言を受けながら、確認された希少種を保全する活動を続けている。約10年前から、場内で確認された外来種を駆除する活動を実施している。
株式会社 三五	名古屋市 熱田区	三五では自社工場敷地内に森、ビオトープ、田んぼなどの里山環境を創出し、地域在来種の植樹、希少種の保全、外来生物駆除を含む生物多様性に関わる取り組みを16年間行っている。 また名古屋市にあるEC035では近隣の小学生を対象に、田植えや稲刈り、自然観察など体験型の教育を毎年実施し、環境学習の場としても活用している。
株式会社 鈴鍵	豊田市	「環境と自然と遊びのテーマパーク」として創出された「下山パークパーク」内には、一般開放されたビオトープが設置されており、誰でも自由に昆虫や魚と触れ合える場となっている。2002年の開園以降、一般向けの自然体験学習会を継続的に実施している。 学校内でのビオトープ創出や工場敷地内の緑地の質の改善など、生態系ネットワーク形成に貢献する取組を実施している。
株式会社 テクノ中部	名古屋市 港区	平成10年に、都市部における自然環境復元の先駆的な技術開発のため、本店屋上にビオトープを設置した。池、小川、水田、湿地、樹林など、多様な生き物が生息できる環境を創出した。 20年以上にわたり、屋上ビオトープにおいて、希少種のウシモツゴやトチカガミ等を保全する活動を実施しており、地域の高校と連携した保全活動も行っている。また、SDGsプロジェクトとして、中学校のビオトープ活動支援にも取り組んでいる。

企業名	所在地	主な取組の概要
株式会社 デンソー	刈谷市	生物多様性をテーマとした環境保全活動「デンソー緑のプロジェクト」を2006年から行っている。苗木を植樹する緑化活動の他、間伐、生物多様性に関するイベントやレクチャー等を実施しており、2019年以降はオンラインでのレクチャーや、各家庭で取り組めるグリーンカーテン活動も実施している。 事業所内のビオトープでは、近隣のため池から保護した希少種のウシモツゴを保護する取組を2000年から継続して実施している。
トヨタ自動車 株式会社 堤工場	豊田市	2007年から、工場内で植樹などを行う「工場の森づくり」活動を行っており、2018年にはビオトープ(びおとーぶ堤)を開設した。 ビオトープにおいては、希少種のウシモツゴやミナミメダカ等を保全する活動を実施している。小学校と連携して、地域のミナミメダカについて理解を深める「ビオめだかプロジェクト」や、ビオトープ管理等について考える機会を提供する「ビオトープを繋ぐ活動」も実施している。
株式会社 豊田自動織機	刈谷市	「各工場の特色を活かし、地域の生物多様性保全に寄与する活動」を推進している。 2012年に、周辺の緑地をつないだ「大府駅東ビオトープ」を創出し、環境教育の場として活用されている。 2018年には、工場敷地内にキツネが安心して行き来できる「東浦工場アニマルパス」を整備し、キツネ等が利用する姿を確認している。 さらに、「東知多工場バードピア」にて、衣浦湾沿岸の企業と連携し、希少鳥類の保全活動を実施している。
トヨタ車体 株式会社	刈谷市	生き物の生息環境をつなぐ拠点となる「トヨタ車体 刈谷 ふれ愛パーク」を整備し、企業、行政、大学等と連携して、生物多様性保全の取組を行っている。パーク内では、ガガブタ等の希少種の保全や、生物のモニタリング調査等を行っている。 次世代の担い手づくり事業の一環として、大学と連携した出前講座等も実施している。 工場近隣の池では、企業、大学、行政等と連携してアカミミガメ等の外来種の駆除活動も実施している。
豊田鉄工 株式会社	豊田市	2013年に創生した「トヨタの森」では、ビオトープの管理や環境教育プログラムを継続的に実施している。その森で毎年、従業員とその家族や市民の方も参加するイベントを開催している。森の生物調査を2016年度から専門家と共同で年3回調査を実施しており、これまでに昆虫189種、鳥類20種、その他13種、合計222種まで確認する事ができた。地域の保全活動では、ラムサール条約登録の矢並湿地の保全活動にも参加している。
ブラザー工業 株式会社	名古屋市 瑞穂区	2018年から毎年、小学生等を対象とした「ブラザーアースキッズアカデミー」を開催し、絶滅危惧種等に関するワークショップを行っている。 名古屋市東山動植物園と連携し、従業員親子を対象に同様のワークショップ、バックヤードツアーも実施している。 自社ホームページにおいて「絶滅危惧動物図鑑」作成プログラム、動物・生き物ペーパークラフト、絶滅危惧種をモチーフにした年賀状アプリ(期間限定)等のサービスも提供している。
横浜ゴム 株式会社 新城工場	新城市	5年以上にわたり、地域に自生する樹種の種子を拾い集めて工場内において苗木に育てる取組を継続している。苗木は、企業、大学、NPO、行政等の多様な主体と連携して、県民参加型の植樹イベントなどで活用している。 公園等で開催される環境イベントにおいて、地域性苗木に関するレクチャーや無料配布事業を実施している。
リンナイ 株式会社	名古屋市 中川区	5年以上にわたり、事業所周辺において外来種のおオキケンイギク等の駆除活動を実施している。取組に関心を寄せた近隣企業、学校、NPO、行政等が活動に加わるようになり、地域に取組が広がっている。 グリーン調達を考え方を整理したグリーン調達基準書を作成し、取引先等とともに環境配慮型の取組を推進している。 地域由来の伝統野菜づくりを通して、社員やその家族らに生きものとのつながりの大切さを伝えている。

(2) 認証企業 (25 社)

(五十音順)

企業名	所在地	主な取組の概要
愛三工業株式会社	大府市	工場に隣接する緑地の間伐・森林整備活動を2016年より実施している。2022年度からは、環境学習や保全団体と協働して生物調査を実施し、周辺地域の生態系保全活動に取り組んでいる。
株式会社石垣商店	名古屋市守山区	瀬戸市の海上の森において、湿地の保全活動や、日照不足等により生育が危惧的になっている希少種のカザグルマの保全活動を大学と協働で行っている。
エスペックミック株式会社	丹羽郡大口町	河川堤防に残された良質な半自然草地や希少種のスズサイコの保全活動、外来種除去作業に取り組んでいるほか、植物苗生産圃場を「在来種育苗ラボ」として一般開放し、地域生態系の再生や保全の重要性を発信している。
大島造園土木株式会社	名古屋市中区	自社管理敷地内の草地で、希少種のケバヅルカコソウを生息域外で保全する活動や、セイタカアワダチソウ、ヒメジョオン等の外来種の駆除活動を実施している。
株式会社オティックス	西尾市	2015年から「OTICSの森づくり」を始め、地域住民や近隣の小学生等と一緒に、工場敷地内で地域在来種を植樹する活動を行っている。
小原木材株式会社	岡崎市	NPO法人と協働で地域在来のどんぐりから苗木を育てたり、山づくりに関する活動を実施しているほか、希少種のキンランを保全する活動を行っている。
加山興業株式会社	豊川市	多様な生き物が生息するように整備した自社敷地内において、学校や一般見学者を対象とした、生物多様性保全の理解向上に繋がる普及啓発事業を実施している。
株式会社クライム	豊橋市	生態系ネットワーク協議会構成員として県民参加型の植樹活動を実施しているほか、保全団体と連携して、過去の植樹場所での保全活動や自然体験イベントを行っている。
グリーンフロント研究所株式会社	岡崎市	生物多様性に関して有している専門性をもって、大学のビオトープ整備や植生管理の支援活動を実施しているほか、保全団体と連携した県民参加型の植樹祭の運営を行っている。
株式会社サーラコーポレーション	豊橋市	2001年から、サーラエナジー株式会社が保有する「サーラの森」において、NPO法人穂の国森づくりの会と協力し、月2回の森林育成事業を実施している。
JFEスチール株式会社知多製造所	半田市	企業敷地内に整備したビオトープにおいて、幼稚園と連携したホテルの幼虫の放流体験会を行っているほか、行政と連携したアサギマダラの保全に資する活動を行っている。
シャチハタ株式会社	稲沢市	保全団体と連携して、ビオトープに生息する希少種のミナミメダカの保全活動を行っているほか、他企業と連携した外来種のおオキケンイギクの駆除活動を実施している。
大同特殊鋼株式会社	名古屋市東区	工場敷地内にビオトープを整備するなど知多半島グリーンベルトの生態系保全に貢献しているほか、ハイクボタルの保全や観察会等も実施している。
大和リース株式会社名古屋支社	名古屋市中村区	瀬戸市の海上の森において、日照不足等により生育不良になっている希少種のシデコブシの保全活動として、専門家の指導のもと、周辺樹木の除伐、間伐等を2012年から継続的に実施している。
株式会社地域環境計画	名古屋市名東区	知多半島の企業緑地内のビオトープの整備等に専門家として関わっているほか、他企業や行政等と連携して、一般市民を対象とした生物多様性保全に関する普及啓発イベントを実施している。

企業名	所在地	主な取組の概要
株式会社東海理化	丹羽郡大口町	他企業や行政と連携して、外来種のおオキケンイギクの駆除活動を実施しているほか、地域の子どもや仕入先を対象に環境セミナーを開講して、生物多様性保全取り組みの重要性を普及する活動を行っている。
東邦ガス株式会社	名古屋市熱田区	工場内にビオトープを設置して保全活動をするともに、動植物の経年調査を実施している。大学生と連携して、ビオトープにおける動植物の生育・生息状況調査も実施している。
東レ株式会社東海工場	東海市	工場内のビオトープに生息している希少種のミナミメダカの保全活動を大学生と協働して行っているほか、生態系ネットワークの形成を目的としてフジバカマを植えるなど、アサギマダラの保全に資する活動を行っている。
戸田建設株式会社名古屋支店	名古屋市東区	工事の際に確認された希少種のコアジサンについて、繁殖地・営巣地（コロニー）を保護する取組を、専門家から助言を受けながら、行政と連携して行っている。
豊田合成株式会社	清須市	工場内の調整池（約7,000㎡）を雨水調整の本来機能を損なわずにビオトープとして整備し、その生態系を豊かな状態に保つために、外来種駆除活動や、専門家を交えた生き物調査を継続的に実施している。
尾西信用金庫	一宮市	「木曾三川流域エコネット応援団」に参加して、専門家からの助言を受けながら希少種のアサギマダラの生息域外保全を行い、生物多様性の普及啓発のためにロビーにて展示を行っている。
合同会社フォレストエネルギー新城	新城市	保全団体と連携して、外来種のおオキケンイギクの駆除活動を行うほか、生物多様性保全に貢献する木質バイオマス事業の現場視察会や、講演会等を行っている。
株式会社マルワ	名古屋市天白区	中学校と連携して、生物多様性と関連性のあるSDGs活動等を紹介する出前講座を行っているほか、公園等で樹木の保全活動や植樹を行っている。
三井住友信託銀行株式会社一宮支店	一宮市	「木曾三川流域エコネット応援団」に参加して希少種のアサギマダラを飼育し、郷土の自然に触れる機会を地域の方々等に提供するため、民間企業初となるアサギマダラの展示を行っている。
株式会社LIXIL知多工場	知多市	知多半島グリーンベルトの生態系を保全するため、在来種の植樹、アニマルパスウェイの設置、生き物調査、普及啓発フォーラム等を毎年継続して行っている。